

## 別紙様式 2

授業科目名	知覚・認知心理学 B	大学名	作新学院大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（9月16日～1月16日）
学部・学科等	心理コミュニケーション学科	曜日	金曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	2時限（10時40分～12時10分）
標準対象年次	2年・3年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	
担当教員名	松田 真幸		
電話番号（代表者名）	028-667-7111	e-mail アドレス	matsudam@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	木曜3時限目（予定）。e-mailによる質問や相談にも応じます。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;</p> <p>本授業では認知心理学の内容を扱います。認知心理学は、人間の認知活動（心のはたらき）を情報処理アプローチ（人間を一種の高次情報処理システムとみなす考え方）に基づいて理解しようとする心理学の一領域です。このような認知心理学の基本的な考え方を理解するとともに、認知研究や人間の認知活動に関する基礎知識を修得することにより、人間の認知について理解し、それにかかわる自分の考えを説明できるようになることを本授業の到達目標とします。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;</p> <p>特に必要としません。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;</p> <p>はじめに認知心理学の基本的な考え方や研究の方法について解説します。続いて、記憶、知識の表象、言語、思考、メタ認知、認知の障害といった主要な領域の中からいくつかの話題を選んで、何が問題とされ、どのようなことが明らかにされてきたのかを解説していきます。</p> <p>&lt;授業計画&gt;</p> <p>第1週 はじめに：認知心理学とは</p> <p>第2週 認知心理学の方法1：心理学実験</p> <p>第3週 認知心理学の方法2：認知モデルとコンピュータ・シミュレーション</p> <p>第4週 記憶1：記憶のモデル、感覚記憶、作業記憶</p> <p>第5週 記憶2：長期記憶、潜在記憶</p> <p>第6週 記憶3：日常記憶（自伝的記憶、フラッシュバルブ記憶、目撃証言、展望記憶）</p> <p>第7週 知識の表象1：意味ネットワーク</p> <p>第8週 知識の表象2：スキーマ</p> <p>第9週 知識の表象3：イメージ、プロダクション</p> <p>第10週 言語1：文の読みと眼球運動</p> <p>第11週 言語2：文の読みのモデル</p> <p>第12週 思考1：演繹推理、問題解決</p> <p>第13週 思考2：ヒューリスティック判断、意思決定</p> <p>第14週 メタ認知：メタ認知的知識、メタ認知的活動</p> <p>第15週 認知の障害：失認症、失語症、健忘症</p> <p>定期試験</p> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;</p> <p>教科書は使用しません。授業の内容に関する資料を配布します。</p> <p>&lt;成績評価法&gt;</p> <p>定期試験（60%）、各回の小テスト（20%）と課題（20%）を基本にして評価します。10回以上の出席がないと評価対象外となり、単位の取得はできません。</p> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;</p> <p>授業中そのほかで自分自身の認知についても考えてみるとよいでしょう。</p>		